

市民ワークショップ
「なりた☆未来予想図」

実施報告書

(1)開催概要について

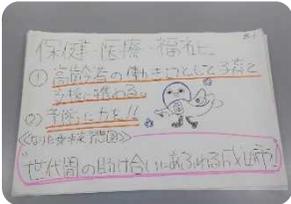
- 総合計画「NARITAみらいプラン」第2期基本計画の策定過程に市民参画を図り、市民等の意見・要望を集約するため、下表のとおりワークショップを開催しました。

タイトル	市民ワークショップ「なりた☆未来予想図」
目的	今後の成田のまちづくりについて、市民ひとりひとりの想いやアイデアを共有する場を設定し、市民が抱く成田市の魅力や、将来の成田市に対する想いや願いを、様々な方との交流・意見交換を通じて挙げていただき、第2期基本計画の策定に繋げる
開催日時	令和元年5月12日（日）13:00-16:00
場所	成田市役所6階 大会議室（託児：中会議室）
対象	<ul style="list-style-type: none">・市内在住の16歳以上の方（住民基本台帳から無作為抽出で選出された2,000名のうち参加を希望された方、及び同伴者）・ホームページ等の参加者募集を見て申込みされた方・成田市職員
参加者数	61名（市民48名、市職員13名）



(2)実施方法について

- 総合計画「NARITAみらいプラン」における、将来都市像の実現に向けた6つの基本方向ごとにグループ分けをし、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行いました。
- 各ラウンドの間には席替えタイムとして、1人（ホスト役）を残して他の全員（旅人）は自由に他のテーブルに移動します。
- ラウンドごとに出た意見やアイデアを付箋に書いていただき、グループ内で情報共有しました。
- 将来の成田の姿「なりた☆未来予想図」について、グループごとに発表を行いました。

【基本方向】	【グループ】	
住環境	A-1 A-2	
保健・医療・福祉	B-1 B-2	
教育・文化	C-1 C-2	
空港・都市基盤	D	
産業振興	E	
自治体経営	F	

第1ラウンド	グループごとに割り当てたテーマ（基本方向）における、施策や事業について、普段の生活で感じている「良いところ」、「不足しているところ（課題）」を抽出。
第2ラウンド	第1ラウンドで出た意見について、課題の解決や施策の実現のためにどうすべきかを話し合う。（実現策や新たな提案など）
第3ラウンド	これまでの意見を模造紙にまとめるとともに、将来の成田の姿「なりた☆未来予想図」について発表。

(3)グループ意見

■ 基本方向 第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

【グループ:A-1】

なりた☆未来予想図は、

「**持続可能であらゆる世代の人が笑顔で暮らせる全国1位の街**」

○グループ意見

(1) 地域の格差を改善して、安全に暮らせる環境を整える (汚水・がけ地・空き家)

- ・成田の中心地は整備が進んでいるように感じるが、中心地から離れるとまだまだ危険なところや空き家の問題があるため、これからの世代のために解決していく必要がある

(2) 空港で雇用されている人たちが、市内で暮らせる環境を整える (駅付近に魅力的な施設を作る)

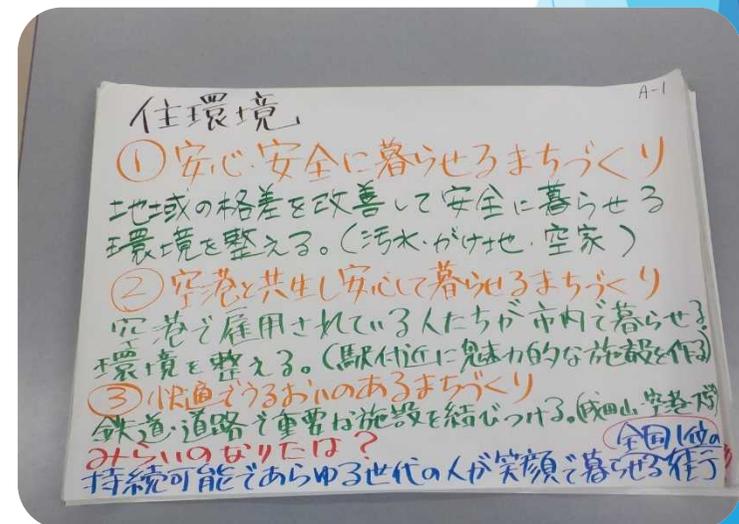
- ・空港で勤務している方は、市内のみでなく八千代市や佐倉市などの周辺市町に住んでいる方も多くいるため、その方たちが成田市内で安心に暮らせるためにはどうしたらよいかを考えた。そのためには、駅の付近に魅力的な施設を整備するなど、成田を生活するだけの場所にするのではなく、成田に降り立って何かしてもらえよう環境を整える必要がある

(3) 鉄道・道路で重要な施設を結びつける (成田山・成田空港・国際医療福祉大学)

- ・みんなが車を使用することにより、道路渋滞で市民の利便性が下がることもあるため、公共の輸送手段を充実させていく必要がある

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道が広範囲で整備されている ・ごみの分別ルールが明確化されている ・発展した場所にすぐ行ける! (東京・さいたまなど) ・都内へのアクセスが良い
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前には集客力のある店などがあると良い ・子供たちが遊べる所をもっとたくさん作ってほしい ・ごみの分別ルールを調べにくい ・土屋を越えると廃屋が一気に増える 防犯、防災上不安
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・A I や翻訳システムを導入する (誰でも接客) ・避難訓練を頻繁に行う



(3)グループ意見

■ 基本方向 第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

【グループ:A-2】

なりた☆未来予想図は、

「市民全体のさらなるマナーの向上を目指す！」

○グループ意見

(1) 電柱の地中化推進、歩行者と自転車の住み分け

- ・市民が安全・安心に歩ける歩道の整備が必要。例えば、市内には電柱がジャマして歩道が少ない地域もあるため、電柱を地中化するなどの対策はどうか。また、歩道がある箇所でも、自転車が走っていたりして危険な場合もあるため、歩行者と自転車のレーンを明確に分けるなどの対策も

(2) 市営駐車場増設、マナーの注意喚起

- ・住宅密集地などで発生する路上駐車が問題のため、駅周辺に市営駐車場を増設してはどうか。路上駐車に関しては運転者のマナーによるところが多いため、市として改善に向け取り組めることとしては、マナーの注意喚起などが挙げられる

(3) 戸別収集、状況に応じた収集、ごみの減量化(分別マナー等)

- ・ごみ収集のルールの見直しを図ってはどうか。ごみ収集日になると、ごみが溢れて大変だと思うが、他の市町村の取組みとして、戸別収集というやり方がある。事前に予約をすれば、戸別ごとにごみの収集に来てくれる。この取組みを行うには、有料化するなどの議論もあると思うが、有効な対策だと思う。また、収集日が曜日ごとに決まっているが、状況に応じてごみが多い日や少ない日もあるため、効率的な収集ができれば。そもそも、ごみが出すぎているという現状があるため、各家庭にごみの減量化の呼びかけを

○付箋意見(一部抜粋・原文ママ)

良いところ

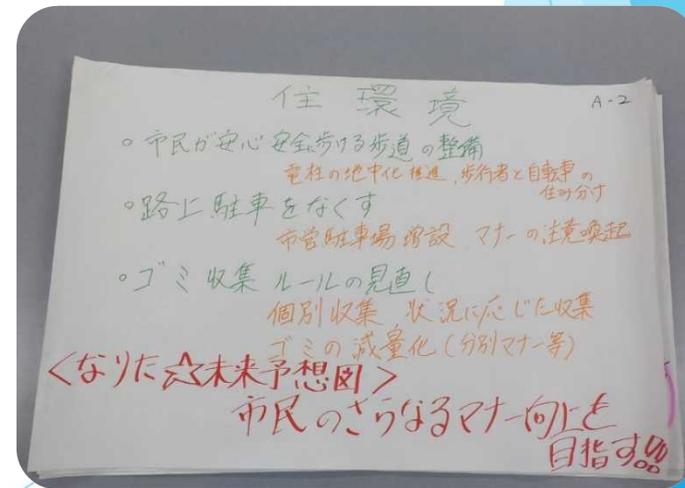
- ・住みやすいので不満はあまりない
- ・緑道が多く散歩がしやすい
- ・環境整備や道路整備が充実してきた
- ・特にNT内での自然災害が無い

課題

- ・ごみの分別ルールが明確化されている
- ・路上駐車が多い
- ・市の中心部と比して郊外は道路に歩道がない地域もあり危険

改善点

- ・ゴミ収集日の見直し(実際のゴミの量・分別状況に即して)
- ・電柱を埋設にしてもらえると歩行者の安全も少し確保できる



(3)グループ意見

■ 基本方向 第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

【グループ:B-1】

なりた☆未来予想図は、

「**世代間の助け合いにあふれる成田市!**」

○グループ意見

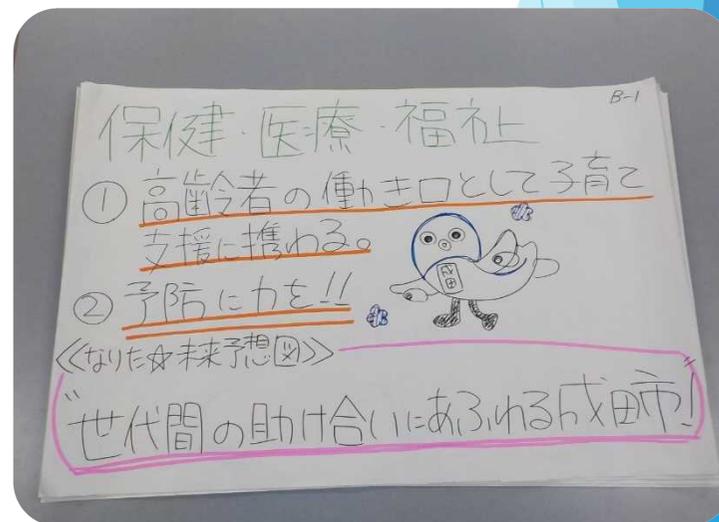
(1) 高齢者の働き口として子育て支援に関わる

(2) 予防に力を!

- ・ 保育所の数が増えてきているが、祝日や休日に預けられる場所が少ないように感じる。ファミリーサポート制度という助け合いの制度はあるが、基本的には預けられる方の自宅での対応となる・・・
- ・ 成田市に限らず他市町村でも高齢者が増加する中で、世代間の交流が無くなってきてしまうのが問題と感じる。高齢者が孤立してしまいやすい状況であり、さらに、若い世代との交流が無くなってしまくと、高齢者がどんな助けを求めているのかなどの会話ができない。まず、多世代が触れ合う機会を創出し、コミュニケーションを図ることで、なにを支援すればいいかを把握できるようにする
- ・ 高齢者が外に出ていきやすい環境づくりが必要。そのための働き口を。社会に出て体を動かすことで健康管理にも繋がる
- ・ 現在、商業施設等でも休日に子どもを預けられる環境が整備されているが、そこで働く人材(保育士等)の確保が難しいため、高齢者の働き口として活用できないか。このように、高齢者の働き口と子育て支援を組み合わせ考えていかなければならないと思う

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ	<ul style="list-style-type: none">・ 子育て支援に関する施設の種類・数は充実している・ 児童ホームがたくさんある・ 高齢者が活動できる場が多い・ 医療機関の充実
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 子育て施設について地域間で格差がある・ 保育士の育成(教育)・ 地域による福祉・助け合いの場が不足している
改善点	<ul style="list-style-type: none">・ 商業施設への託児施設の充実・ 利用しやすい保育環境の整備



(3)グループ意見

■ 基本方向 第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

【グループ:B-2】

なりた☆未来予想図は、

「子ども・子育て世代・高齢者・障がい者が住みやすいまちに」

○グループ意見

(1) リタイヤした高齢者の活躍の場を兼ねて、小中学校などで共に活動する仕組みをつくる

(2) 65歳以上の高齢者に、公共交通機関を利用できるシルバーパス制度を導入する

- ・高齢化社会となっているが、まだまだ元気で、働きたい意欲を持った高齢者は多いと思う。その方たちが活躍できる場（小中学校など）を作れば。また、高齢者が安全・安心に移動ができるようなサービスとして、公共交通機関で利用できるシルバーパスの導入を

○付箋意見（一部抜粋・原文ママ）

良いところ

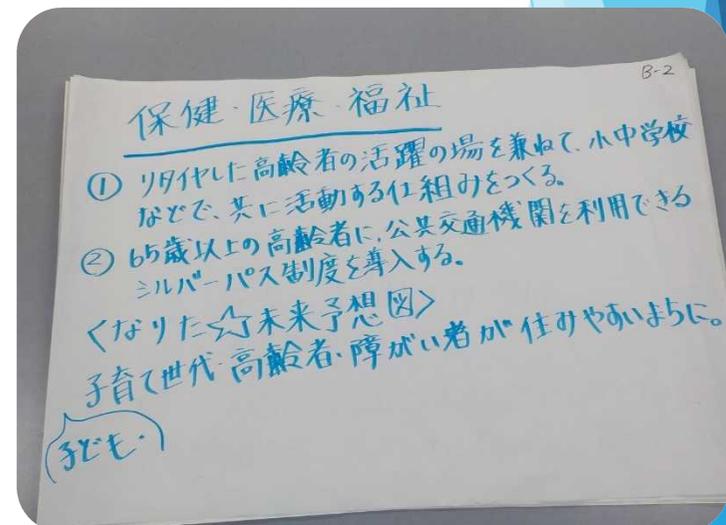
- ・子育て中の人があふれあえるところがある
- ・介護施設（特養や有料老人ホーム等）がかなり充実している
- ・オンデマンド交通や移送サービスがある
- ・医学部附属病院ができる

課題

- ・オンデマンドタクシーの予約が取りづらい
- ・高齢者の移動手段が不足している
- ・下総とか大栄にはあまり病院がない

改善点

- ・免許返納の際、引き換えにパスを支給
- ・病児保育を土日もやってもらえたら助かる



(3)グループ意見

■ 基本方向 第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

【グループ:C-1】

なりた☆未来予想図は、

「日本で1番フラットなまち！成田！NARITA！人種も年齢もこえた垣根なし!!」

○グループ意見

(1) 地域の活動を活発にする

・昔の遊び（ベーゴマ、縄遊び等）を行うなど、文化の継承を行っているコミュニティが存在している。このような活動を活発にできれば

(2) 年代をこえた交流

・一般の小学校などに高齢者が生徒として参加し、子どもたちの先生役として活動を行う制度があり、子どもたちも高齢者からいろいろなことを学べる良い機会となるし、高齢者のやりがいにも繋がるのでは

(3) 公共施設に外国人を採用する

・市役所などに訪れる外国人が利用しやすいよう、外国人を採用しては

○付箋意見（一部抜粋・原文ママ）

良いところ

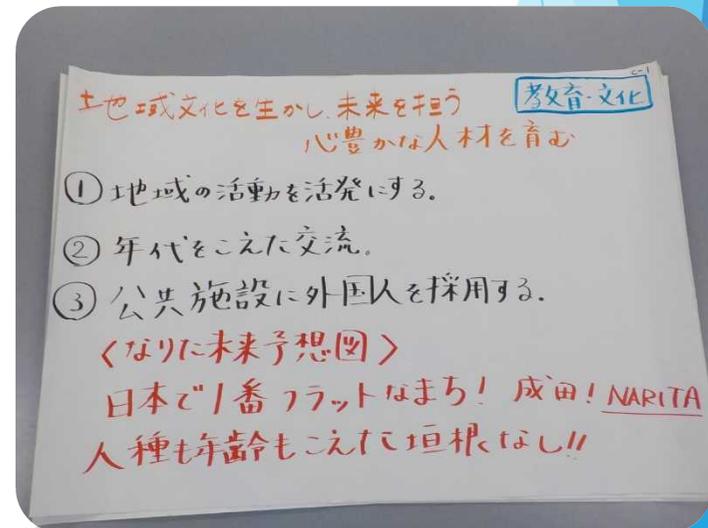
- ・他国の文化に触れる機会が多い
- ・生涯大学があることにより高齢になっても学ぶ意欲が出る
- ・各種スポーツ施設が多い、安い
- ・祇園祭など地域の祭りがにぎわっている

課題

- ・公民館どこがあいてるか知りたい
- ・イベント参加者に若い人が少ない
- ・看板や資料等、多言語の対応が少ない

改善点

- ・空いている施設を有効活用できるシステムを作ってほしい
- ・通訳・翻訳の充実



(3)グループ意見

■ 基本方向 第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

【グループ:C-2】

なりた☆未来予想図は、

「ゆりかごから墓場まで学べる町！」

○グループ意見

(1) 生涯学習の場所を増やし、心豊かな市民の育成

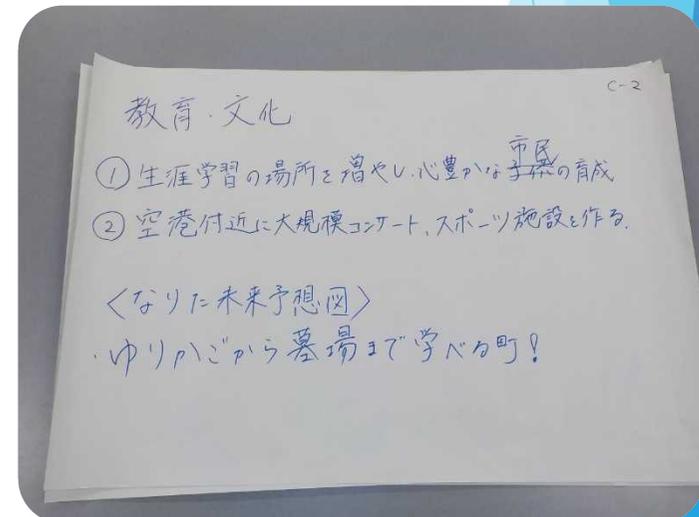
- ・成田市は生涯学習の場が多いという意見の半面、子どもたちが学習できる場がまだまだ少ないようにも感じる。生涯学習の場を伸ばしつつ、子どもたちが勉強しやすい環境を作ってくことで、全員が平等に学べる機会の創出が可能であり、このことが、心豊かな市民の育成に繋がるのでは

(2) 空港付近に大規模コンサート・スポーツ施設をつくる

- ・海外アーティストやスポーツ選手が成田空港に降り立っても、コンサート等の会場は別の場所にある。空港付近に会場をつくれれば、ファンや観戦する方も成田に来てもらえる。道路整備や交通手段の確保などの課題も挙げられるが…

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・少年の翼など子供の頃から国際交流をする機会が多い ・生涯学習を受けられる環境にある ・成田山などの伝統文化がある (祇園祭など) ・スポーツ施設が充実している
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する部活が中学校にない ・放課後学級を全体的に増やしてほしい ・国際的イベントの企画と周知 メディアの利用
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域育成への住民の参画、参加 (部活動・誘導) ・政策としての用地の確保、企業との連携を模索する



(3)グループ意見

■ 基本方向 第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる (空港・都市基盤)

【グループ:D】

なりた☆未来予想図は、
「**やっぱり成田!!**」

○グループ意見

(1) 交通ターミナルを整備する

・新たに駅をつくるのは難しいと思うので、まずはバスターミナルをつくり、利用者の交通の流れができてから駅をもってきてはどうか

(2) バイパス道路の整備

・日本国内の運送の大体8~9割がトラックであり、成田にはあまり関係のない通過交通（成田のまちなかを通るだけ）が多いため、交通渋滞の原因になっているように感じる。道路の整備や、高速道路の一角を無料にするなどして、渋滞の緩和に繋がれば

(3) 空港タウンを作る

・成田空港を訪れる方（買い物、飛行機を見にくる）が、もっと空港の施設を楽しめるような取組みができれば。例えば、機内食が食べられたり、特にファーストクラスの食事が食べられるようなレストランなど、成田でご飯を食べられて良かったと思えるような施設づくりなどができれば

○付箋意見（一部抜粋・原文ママ）

良いところ

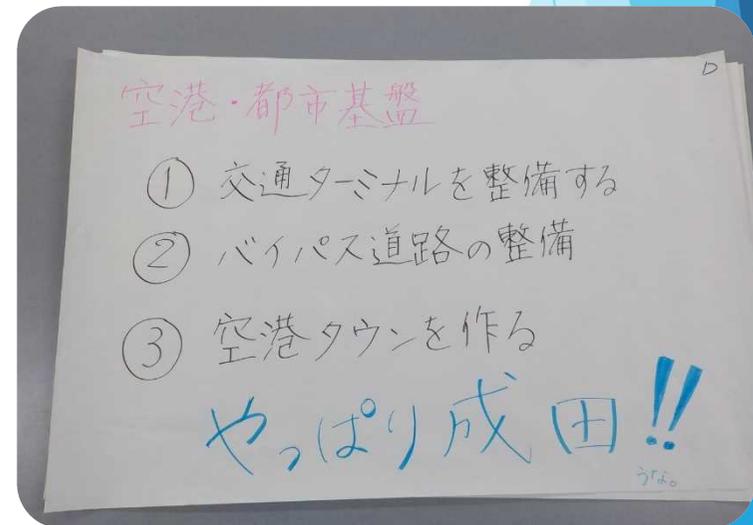
- ・成田ニュータウン 緑道が整備されていて、子供や年寄りには安全でよいと思う
- ・街路樹や雑草の手入れが行き届いている
- ・外国人が多い

課題

- ・地区によってコミュニティーバスが少ない
- ・土屋（イオンの周り）が混んでいる
- ・外国人の交通マナーが悪い

改善点

- ・駅を立体的に利用（駐車とか）
- ・空港を利用した文化施設 美術館 ホール 花畑をつくるなど



(3)グループ意見

■ 基本方向 第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

【グループ:E】

なりた☆未来予想図は、

「成田空港を利用した人たち⇒成田山へ!! (周辺市街をショッピング)
成田市民⇒成田空港へ!!成田は通過点じゃない! 主役だ!!」

○グループ意見

(1) 空港と市街地を結ぶ交通手段の強化

- ・産業振興
- ・都内や観光地などから、空港を目的地としたバスは多くあるが、近隣市街に向かうバスは少ないように感じる。そのような移動手段が増えれば、空港利用者が市街で買い物ができたり、逆に市民が空港に行きやすくなり、商工業の活性化に繋がるのでは

(2) 市民も子どもも楽しめる施設

- ・空港や駅前のスカイタウンをうまく活用できれば

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

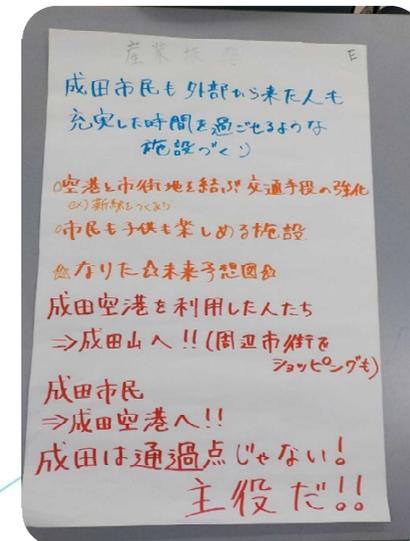
- ・自然もあり都市部にも行きやすい
- ・京成とJRが2つ使える
- ・市場が輸出に動き始めてる
- ・市内に宅地 緑地 (田畑) が程よい割合である

課題

- ・標識が英語表記が少ない
- ・市内の人が利用する、時間をつぶせる遊べる施設を作る
- ・まとまった商業施設がもう少し増えればよい

改善点

- ・参道でイベント (子ども忍者遊び) があったら楽しそう
- ・活性化のための若者が集まる施設を作る 建てる



(3)グループ意見

■ 基本方向 第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

【グループ:F】

なりた☆未来予想図は、

「**移動に困らないまちづくり**」

(1) 脱・車社会を目指す

- ・どのグループの話し合いでも、「車」がテーマに挙がった。高齢者の移動手段、渋滞の問題等を解決するには、車のない社会を目指すのはどうか
- ・オンデマンドタクシーやバスもまだまだ本数が足りなく利用には不便。バスについては、バス停の間隔が広いと、ちょうどいい場所で降りることができない。運行時間についても、朝は遅く、夜は早いため利用しにくい
- ・空港などによくある動く歩道を、路線バスのルートに整備し、24時間稼働させてみてはどうか。自由に乗り降りができるため、非常に使い勝手も良いと思う。街中で整備するには難しいと思うため、例えば地下に整備できれば

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

- ・市内での行事がいろいろある
- ・町並みがきれいである
- ・テニスコート、野球場、プール、図書館等、公共施設が充実している

課題

- ・核家族化や少子化に伴って地域コミュニティの衰退傾向が見られる
- ・ボランティア活動の活発化、集約、合理化
- ・車を使わないと不便で、公共の手段が少ない

改善点

- ・市民意識の向上 (ワークショップ)
- ・福祉・介護タクシー乗り合い

